

第133号

編集・発行

2022・1・18

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL:0179(22)0262

FAX:0179(23)4146

さんのへ 社協だより

令和4年 新年号

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



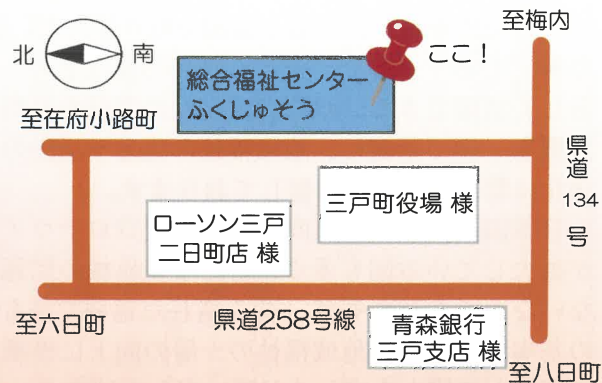
三戸学園三戸小学校 子どもほのぼの交流会の様子 (R3.11.29 三戸小学校体育館)

■ おもな内容

ページ

- 新年のごあいさつ 2
- 昔取った杵柄 シルバー健在 3
- 三戸中学校と八戸第二養護学校の交流会
子ども福祉スクール、子どもほのぼの
..... 4、5
- 各種お知らせ 6

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

令和4年 新年のごあいさつ



三戸町社会福祉協議会
会長 関 向 文 男

新年あけましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より地域福祉事業の推進に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年は令和2年から続く新型コロナウイルスの影響が我々の暮らしに暗い影を落とした一年でありました。特に8月下旬をピークとする全国的な感染の拡大、いわゆる第5波においては、厚生労働省の調べによると8月20日に全国で過去最多となる25,633人の新規陽性者数を記録。青森県内においても8月26日に過去最多139人の新規陽性者数を記録したほか、人口10万人あたりの感染者数も政府分科会が示す指標のうち、最も感染状況が深刻な「ステージ4」の基準である「25人以上」を上回る日が1ヶ月に渡って続きました。三戸町内においても、青森県が発出した「青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージ」に基づき9月1日から公共施設等が閉鎖になるなど、多くの方がこの感染症をより身近に迫った脅威と認識されたことと思います。

感染リスクの排除が困難な中で、本会の地域福祉事業も社会福祉大会やふれあいサロンといった不特定多数が集まる行事やボランティアスクールをはじめとした学校・福祉施設等と連携した行事の大半が中止を余儀なくされました。また新型コロナウイルスの影響で減収した世帯に対する経済的支援である緊急小口資金等の全国での新規貸付数は12月時点においても1週間あたり80億円、2万件程度と高い水準で推移しています。三戸町においても一昨年の3倍以上となる約1,000万円、25件の貸付があり、生理の貧困が社会問題となっている状況も踏まえ、既存のフードバンク事業を拡大して10月1日から生理用品の無償配布を開始したところであります。

一方で昨年は、三戸町と協働で取り組んだ「三戸町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定がなされた年でもありました。子どもから65歳以上のシルバー世代、その誰もが地域で生きがいを持ち、自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指すなかで、これまで町と社協が単独で策定していた両計画を一体で策定し、地域福祉の理念や活動の方向性を共有できたことで、行政と社協の一層の連携強化に繋がるものと確信しております。

日本国内では減少傾向が続く新型コロナウイルスの感染も国外に目を向けると過去最大規模で感染が拡大している国も多く、新たな変異株の問題を含め、今後どのように推移していくか見通しが立たないなかではありますが、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の基本理念の元、地域福祉の一層の向上に役職員一丸となって取り組んで参りますので、令和4年のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

昔とった杵柄

シルバー健在



ふじむら
藤村いく子さんの巻

大正十四年十月二十六日生まれ 九十六歳

「たまり水より 流れ水」の生き方

96歳にして今なお月3回ぐらいいは、正浄寺の自宅から、国道4号バイパス沿いにマックスバリュに手押し車を押しておよそ1.5キロを買い物に出かける驚きの人、これが藤村いく子さんです。

藤村さんは大正14年10月26日、在府小路で藤村佐太郎・いちさんの長女として生を受けました。長生きだけに就いた仕事も

様々、まず娘時代は、親戚の料理店金文（かねぶん）で子守りや仕出しの配達のお手伝いをしていて、ある人の勧めで三戸紫苑保育園に当時、助保母として二年間務めた梅内、町長を勤めた梅内の梅内清見さん宅に、当時は女中さんといわれたお手伝いさんに入りました。住み込みで朝3時半ごろには起床、りんごの剪定から収穫まで一日中働き、合間にはきゅうり等野菜を売りに町に、そして夜に

は機織り（はたおり）の教えを受け、季節によつては蚕の桑採りから養蚕と休む間もなく働きました。それでも父親から「たまり水より流れ水になれ」の言葉に従って働いたのですが、遂に疲れがたまり病に倒れ、入院となりました。回復したあとは、大向にある青森缶詰で女子工員として就職。青森から転勤してきた上司から「藤村先生！」と呼ばれビックリ。保育園で面倒をみた職業安定

所所長の息子さんでした。教え児のおかげで、格の上の仕事を与えられ、そこでも懸命に働きました。そのうちに青森から転勤してきた上司の石島正直さんと24歳で結婚、丁度クリスマスの日でした。まさなおさんは文字の通り「しょうじき」と呼ばれていました。子どもは男一人、女二人に恵まれましたが、子育て費用のため、得意の縫い物を活かし、八日町にあった手芸裁縫店糸屋で、縫い物、編み物に携わり家計を支えてきました。息子は死亡、娘は宮古島に嫁ぎ会うことも少なく夫と二人きりの生活となりました。その夫君正直さんは平成12年

に死去。その後は一人暮らしとなりました。好きな縫い物だけでなく野菜づくりで自給自足。だが元気がなくなると、木を枝切りをした時に倒木が背中当たり痛みがないためそのまま暮らし、二ヶ月経って、医師にろっ骨を骨折していると知らされ即入院になったことも。今では小さい頃父親に「自分でやってみろ」と何も教えられなかったことが長生きのヒケツになったかもと。

好きな縫い物に精を出す毎日、その縫い仕事とは、龍川寺と長栄寺に立つお地藏さまの前垂れと頭巾、色あせたら裏返しでまた使えるというすぐれもの、ご自分では「リバーシブルなんです」と英語ことばを使う96歳、恐れ入りました。老人施設からは「あなたの方から来るところではない」と言われたものの、現在「ぼたんの里」に通所し、週一回のヘルパーさんの訪問を受けています。思い起こせば、この欄に登場した遠藤イトさん当時94歳、野本マサさん同93歳は糸屋さんに勤めた人、糸屋さんは長生きのパワースポット（力の源）だったのでしょうか。元氣じるしの藤村さん、短命県返上のお手本として今後とも我々に示してください。

（文責・川村 亨）

福祉教育への取り組み

福祉教育の一環として毎年三戸小学校で開催している、3年生が対象の「子ども福祉スクール」と第二養護学校のパラスポーツによる交流会の実施にも関わらせてもらいました。今回は10月から11スクがずれている場面もありますが、皆さん速やかにかけ直しています。そうした写真を掲載しないをするなかでマスクがズレることは誰しも経験があることと思います。たまたまそうした瞬間が切り

パラスポーツによる交流会 (ボッチャやふうせんバレーなどで交流)

開催日: 10月29日 (金) 対象: 三戸中学校と八戸第二養護学校の2年生

ボッチャを指導する県ボッチャ協会の櫛引さん



東京パラリンピックで個人金メダルを獲得した杉村選手のエピソードも交え、楽しく指導してくれました。ちなみに杉村選手をはじめ、パラ選手のボールは材質や重量すべてが特注のため一球約60万円ほどするそうです。

狙いを定めてボールを投げる生徒



ボッチャは白玉(ジャックボール)に自チームのボールをより近づけた側の勝ちとなりますが、これが難しい。力が弱ければ届かず、強過ぎると的を通り過ぎてしまい、仲間の投擲に一喜一憂していました。

きまぐれに動く風船に翻弄される



直径40センチの風船を使ったふうせんバレー。視覚障がいのある人も出来るよう、中には鈴が。チーム全員が触ってから返球するルールだけに声掛けがとても重要。きまぐれな風船の動きに歓声が溢れました。

卓球バレーで大盛り上がり



大阪生まれの卓球バレー。視覚障がい者用の音が出る弾まないピンポン玉を椅子に座ったままバレー形式でラリーします。いずれの試合も一方的な展開になることなく、接戦が繰り広げられました。

昨年度に続き、コロナ禍での開催となりました。青森県内においても感染者数が急増したこともあり、一時は開催が危ぶまれましたが、このように無事開催することが出来、安堵しております。関係者の皆様にはこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

～小中学生が体験を通じて学びを深めました～

4年生が対象の「子どもほのぼの交流会」。今年度はこのふたつの事業に加えて、三戸中学校と八戸市にかけて行った、これら福祉教育への取り組みを紹介します。（※なお掲載している写真で一部マスキングもありませんでしたが、少しでも当日の様子を伝えたいと考え、掲載いたしました。動いたり会話取られたものをご理解ください。）

子ども福祉スクール（高齢者の身体的な特徴を疑似体験）

開催日：11月15日（月） 対象：三戸小学校3年生

国語の教科書読み体験



普段から読み慣れた国語の教科書も白内障体験眼鏡をかけると途端に読みづらくなります。手袋をつけて、紙のめくりづらさも体験しました。

買い物体験



眼鏡と手袋をつけると、財布からお金を出す、おつりを受け取るといった動作にも時間がかかります。床に落としたお金を拾うのはまさに一苦労。

子どもほのぼの交流会（小学生が創意工夫で地域の高齢者をおもてなし）

開催日：11月8日（月）…ガイダンス、11月29日（月）…交流会本番 対象：三戸小学校4年生

一緒にあやとりをする様子



交流会では小学生が班ごとに出し物を用意。この班では、あやとりをはじめ、けん玉やお手玉、折り紙など、昔遊びを中心に交流しました。写真の坂本さんは「昔からあやとりが得意だったんだよ」と思わず見とれるような手つきを披露してくれました。

お題付きの魚釣りゲームで交流する様子



この班の出し物は魚釣りゲーム。工夫が光ったのは、釣り上げた魚の裏におしゃべりのお題を書いた点。写真の水梨さんが好きなスポーツというお題に「卓球を見るのが好き。昔は体操部だったんだよ」と答えると子ども達も「えーすごい」と驚きの声。

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。

(令和3年10月1日～令和3年12月31日まで)

寄附金の部

- ・青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様 5,000円
- ・立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様 10,000円
- ・三戸ロータリークラブ 様 50,000円
- ・大友会 様 50,000円

物品の部

- ・NPO法人 沙羅双樹の会 様 食料品
- ・堀川 順代 様 手指消毒剤
- ・三戸ライオンズクラブ 様 食料品
- ・立正佼成会 八戸教会 三戸支部 様 米

寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。

新型コロナウイルス特例貸付の受付期間延長について

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業、収入減少で生活資金にお困りの方を対象とした、特例貸付の受付期間が**令和4年3月末**まで延長となりましたのでお知らせします。借入をご希望の方はまずはご相談ください。

資金種別	貸付上限額	償還(返済)据置期間	償還(返済)期間	その他
特例緊急小口資金 ～一時的な資金が必要な方～	20万円	1年以内	2年以内	無利子 保証人不要
特例総合支援資金 ～生活の立て直しが必要な方～	月額20万円 ×3ヶ月間		10年以内	

※総合支援資金の貸付上限額は単身世帯の場合、月額15万円となります。

コロナ禍で生理用品が必要な方へ～配布場所拡大のお知らせ～

令和3年10月から開始した無償配布について、**町立図書館**でも受け取れるようになりましたのでお知らせします。

■対 象 生理用品が必要な方

■配布内容 生理用ナプキン(昼用2パック or 昼夜1パックずつ)

■配布場所・時間

三戸町社会福祉協議会	月曜日～金曜日	土日祝日を除く
	8:30～17:00	
三戸町立図書館	火曜日～日曜日	休館日(※)を除く
	10:00～18:00	

※休館日：毎週月曜日、月曜日が祝日の場合はその翌日、毎月最終木曜日

■配布方法 配布場所に設置のカード、または本会HPに掲載の画像を提示してください。

■その他 女性職員が対応します。お名前などはお聞きしません。中身の見えない袋に入れますが、必要な方はエコバッグ等を持参ください。



●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146